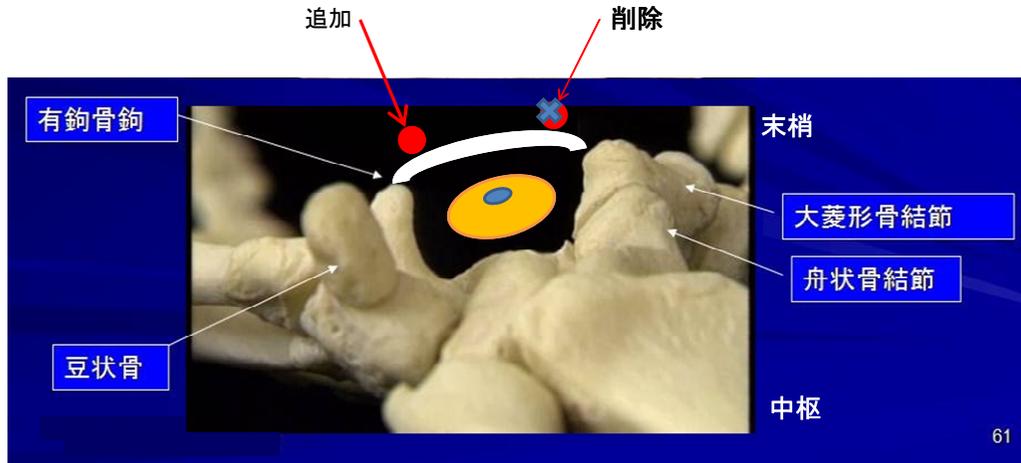
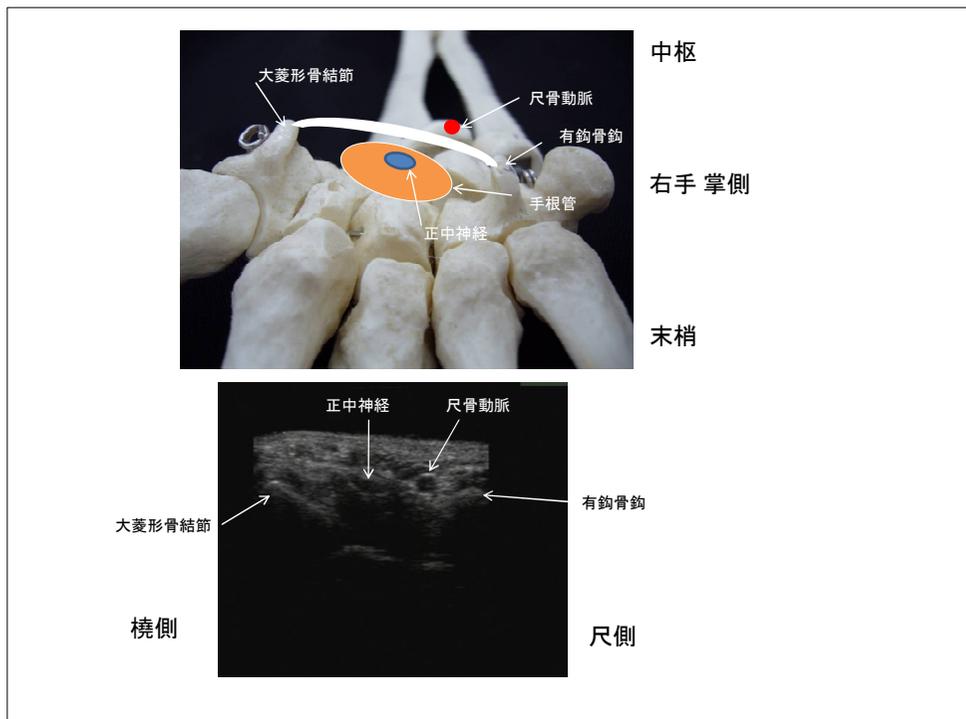


訂正:「入門 運動器の超音波観察法」2008年6月14日

「入門 運動器の超音波観察法 (日本超音波骨軟組織学会 編)」医歯薬出版株式会社  
49 ページ 手根管 (正中神経) の部 解剖模型の写真に下記誤りがありましたので訂正致します。



これは本来、49 ページ下段の短軸画像に合わせて、次のようになるべきものでした。  
『すなわち、49 ページの超音波画像は、健常者の右手掌側を末梢から描出した短軸画像ですから、解剖模型の写真も同様に末梢から中枢に向けて撮ったものを掲載すべきでした。(下図参照)』



訂正:「入門 運動器の超音波観察法」2008年6月24日

「入門 運動器の超音波観察法 (日本超音波骨軟組織学会 編)」医歯薬出版株式会社  
【訂正内容】

67ページ

2) 短軸画像

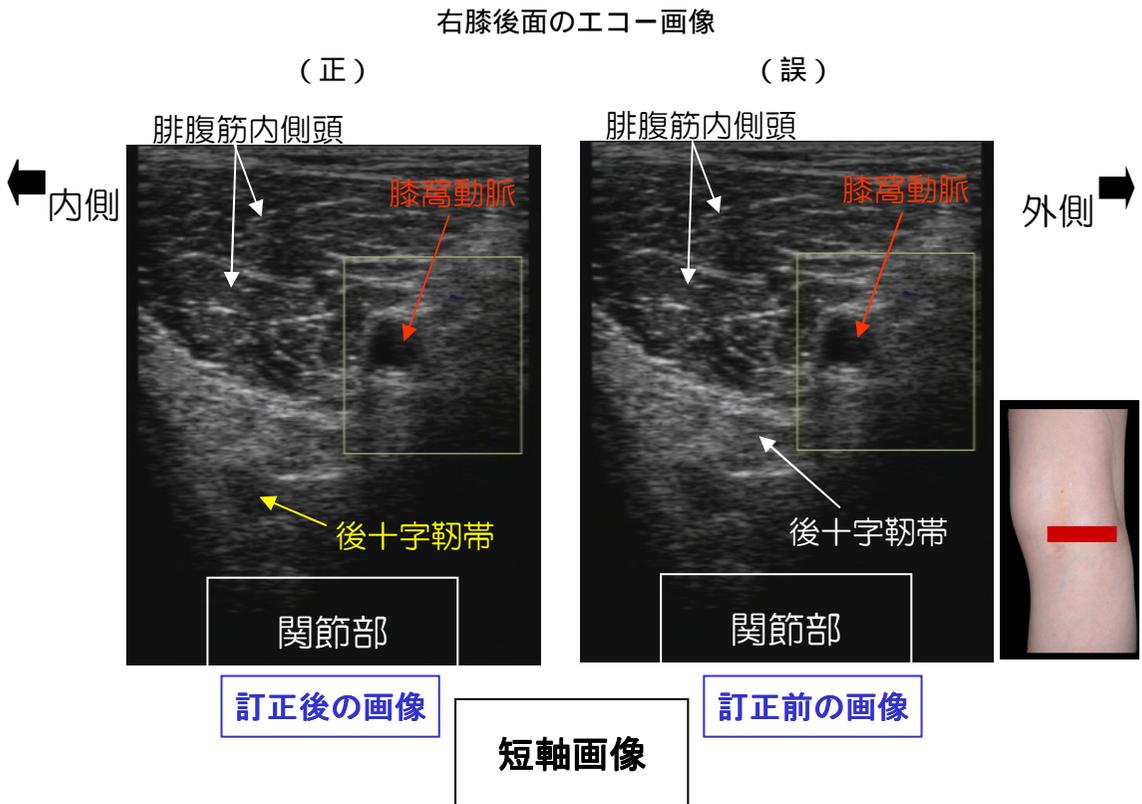
(誤) 関節部では、腓腹筋内側頭は大腿骨顆部の画像中の腓腹筋内側頭より大きく認める。大腿骨顆部の浅部に後十字靭帯を認める。

(正) 関節部では、腓腹筋内側頭は大腿骨顆部の画像中の腓腹筋内側頭より大きく認める。大腿骨内側顆に近い深部に、後十字靭帯を認める。

69ページ、中段の関節部の画像

後十字靭帯を示す矢印の位置を訂正。

(左の画像が訂正したものです。 右の画像は訂正前のものです。)



「入門 運動器の超音波観察法（日本超音波骨軟組織学会 編）」医歯薬出版株式会社

【訂正内容】

①59ページ

1) 長軸画像

(誤) 上部では、大腿直筋、縫工筋と中間広筋の一部、大腿骨上端部の大転子前面を描出する。



(正) 上部では、大腿筋膜張筋、中殿筋と外側広筋の一部、大腿骨上端部の大転子前面を描出する。

②60ページ、上段の上部の画像

— 長軸画像

